
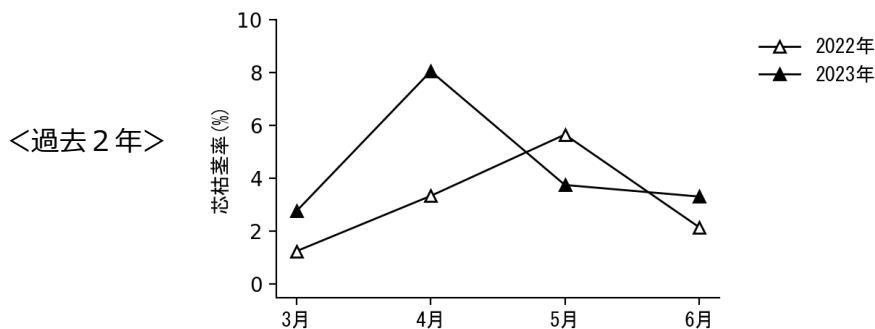
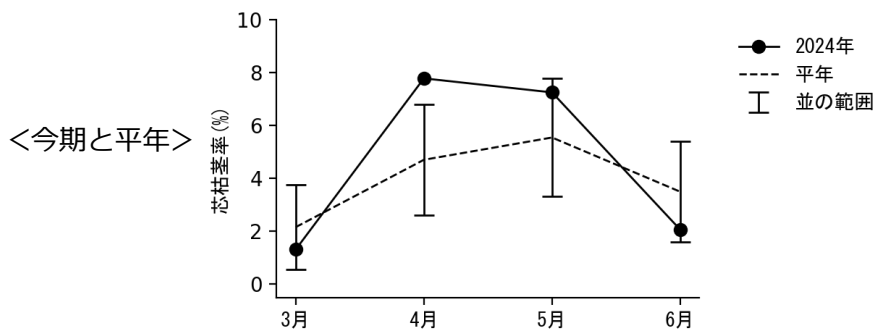


作物	さとうきび	地域	沖縄群島
病害虫名	メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ・イネヨトウ)		
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	並	
予報	6 月からの増減傾向	—	
	7 月の発生量 (平年比)	—	
予報の根拠			

調査結果


芯枯茎率の推移 (株出し)



- ・発生種：カンシャシクイハマキ (57%)、イネヨトウ (43%)
- ・発生ほ場率62.5% (平年：85.9%)、多発生 (久米島)

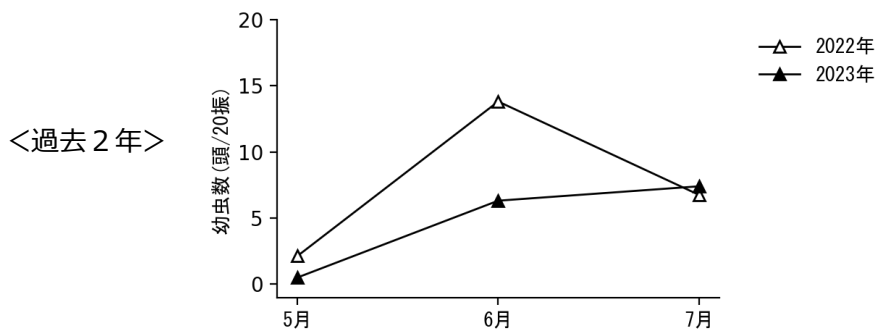
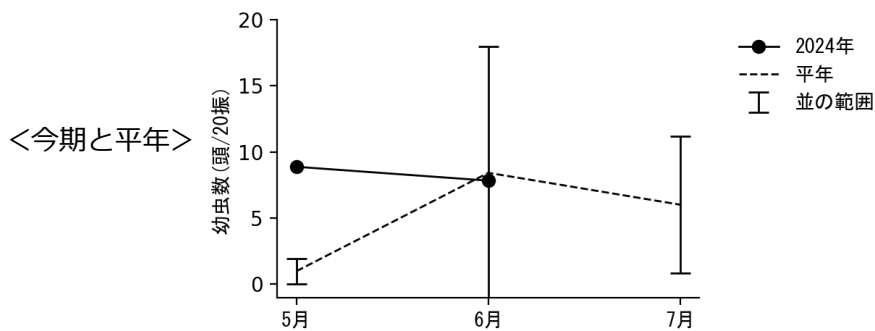
防除のポイント

- ・ふ化した幼虫は、葉裏や葉鞘部から下部に移動した後、地上部の芽や根帯から食入し、生長点を加害して芯枯れを起こさせ茎を枯死させる。
- ・ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるため除去する。
- ・加害による芯枯れを防止し有効茎を確保するため、培土時および生育初期の防除を徹底する。
- ・培土時に土壌害虫の防除を兼ねた薬剤(粒剤)を選択し施用する。
- ・茎葉への乳剤散布は、葉鞘内に薬液がきちんと浸透するように丁寧に散布する。

作物	さとうきび		地域	沖縄群島
病害虫名	① バッタ類			
調査結果	6 月の発生量 (平年比)	並		
予報	6 月からの増減傾向	↘		
	7 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)		

調査結果

幼虫数の推移



・発生ほ場率100% (平年 : 70.9%)、多発生 (伊計島、宮城島、南大東島、久米島)

防除のポイント

- ・発生源となるほ場及び周辺のイネ科雑草の除草を徹底する。
- ・幼虫期の防除が効果的なので、ほ場周辺の見回りを行い幼虫の早期発見・防除に努める。